

第2回次世代排水システムシンポジウム

「機械・サイホン排水システム設計ガイドライン(AIJES)」刊行にむけて

現在の建築排水システムは、勾配排水と水封式トラップによって構成されている。このシステムは世界共通で2世紀以上にわたって実績のあるシステムであるが、管勾配に依存する勾配排水は搬送力が脆弱で、水封式トラップも破封の恐れを完全には払拭できない、等の課題もある。また、これからの建物は長寿命化が志向され、プラン変更の自由度確保が求められるなかで、配管設計の自由度が小さいことが改修の大きな拘束条件となっている。

これら従来排水システムの弱点を補完するものとして、機械排水システム（小型圧送排水・真空排水）、サイホン排水システム（雨水・雑排水）、および非水封式トラップが実用化されてきている。しかし、これらは従来排水システムを前提とした設計基準体系には当てはまらない。そこで、建築学会の「次世代排水システム小委員会」では、これらの新しい排水システムの設計ガイドライン(AIJES)づくりを行ってきた。今回はそのガイドライン(案)の概要を説明し、関係各位のご意見を広くお聞きしたいと考え、シンポジウムを企画したものである。

主 催：日本建築学会 環境工学委員会 企画刊行運営委員会 次世代排水システム刊行小委員会
日本建築学会 環境工学委員会 建築設備運営委員会 次世代排水システム小委員会

日 時：2014年12月4日(木) 13:30~17:00

会 場：建築会館 301+302 会議室 (東京都港区芝 5-26-20)

プログラム：

1. 開催挨拶・主旨説明 坂上恭助(明治大学)
2. 設計ガイドラインの概要と適用可能性
 - (1) 小型圧送排水システム 加藤健一郎(齋久工業)
松下幸之助(TOTO)
 - (2) 真空排水システム 高津 靖夫(芝工業)
山本 慈朗(日本管材センター)
 - (3) サイホン雨水排水システム 谷 信幸(アルモ設計)
真山 淳哉(タキロン)
 - (4) サイホン雑排水システム 小寺 定典(UR都市機構)
細田幸宏・丸山秀行(ブリヂストン)
 - (5) 非水封式トラップ 須賀 良平(クボタシーアイ)
摺木 剛(丸一)
3. 設備設計者からの適用性に関するコメント
4. 質疑応答・自由討論

司会：古賀誉章(東京大学)

記録：岡内繁和(鹿島建設)・早川和男(戸田建設)

参加費：会員2,000円、会員外3,000円、学生1,000円(資料代含む)

定 員：70名(申込先着順)

申込方法：学会ホームページからお申し込みください

問合せ：日本建築学会事務局 研究事業グループ 中村亮輔

(E-mail:nakamura@aij.or.jp、Tel:03-3456-2051、Fax:03-3456-2058)